

生涯活躍のまち(CCRC)構想 実現に向けた取組(お試し居住)

本市では、まちづくりの重要な施策として「都留市版生涯活躍のまち(CCRC)構想」の実現に向けて取り組んでいます。

東京一極集中の是正や地方の人口減少対策として「地方移住」や「生涯活躍のまち(CCRC)構想」などが国の地方創生の目玉とされています。

本市ではこの「CCRC構想」にいち早く取り組んだことから、全国的にも先進自治体として注目を集めており、平成27年12月11日の国のCCRC構想有識者会議の最終報告では、地方先行型交付金の特徴的な取組として本市の事例が取り上げられたところでもあります。

また、この最終報告では、CCRC構想をはじめとする移住全体の促進にあたっては、まちの魅力を積極的にPRすることはもちろん、希望者に対する情報提供・事前相談・意見聴取・マッチングなどの支援や地域社会の実情を体験する「お試し居住」などが重要であるとされています。そのような中、本市では、昨年10月にエコハウス内に開設した「移住・定住相談センター」において、県外からの「お試し居住」の受け入れを行っており、参加者から大好評をいただいています。

今後も、都留文科大学・健康科学大学・県立産業技術短期大学校とによる「大学コンソーシアムつる」をはじめとする関係機関等との連携を図りながら、移住者だけでなく、このまちに住むすべての人にとって「豊かな暮らし」につながる持続可能なまちづくりへの取組としての「生涯活躍のまち(CCRC)構想」を進めていきます。

体験者東京都立川市 I様の声



お試し居住の際には、妻共々大変お世話になりました。

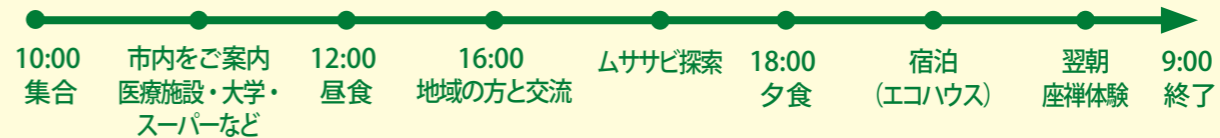
前もって天気予報によるスケジュール調整をしていたら、2日間とも好天気で、とても意義のある2日間でした。都留市は義姉が4年学園生活を送ったまちで、その程度の認識でしたが、今回の体験で深く知ることになりました。今後の人生展望を描くのにとても参考になりました。まちおこしを市長さんを先頭に市民の皆さんが全国市町村のフロントランナーとして頑張っていることが、よくわかりました。

当日、集合場所で落ち合い、エコハウスでのオリエンテーションを受けました。私からも見せて欲しい都留市の生活環境をおたずねし、担当者の方の案内で市内を回り、市の圃場の様子や地元のおさん宅を訪問し、ご夫妻のゆったりとした田園生活ぶりを見せていただき、コーヒーの振る舞いもしていただきました。夫婦共々、都会生活が長くシティボーイにすっかり染まっており田園の良さを、十分に知ることになりました。帰りにはO夫人が、畑から収穫したばかりの新鮮かつ芳醇な香りを持った野菜をいただき恐縮するばかりでした。

お試し居住とは？

●本市への移住を希望の方・移住に興味をお持ちの方などに、1泊2日間(無料)本市に滞在していただきます。
住環境(医療施設・スーパーまでの距離感など)や、趣味(DIY・生涯学習・農業など)、市民との交流などを体験していただき、移住へのイメージづくりとして活用していただくプログラムです。
※今後は1週間～1カ月の長期滞在プログラムへ向けた環境整備を進めていく予定です。

■1日の流れ(例)



エコハウスの宿泊はとても快適でした。環境に配慮され、暖房設備も、水力発電で館内の電力を賄っていることなど、市の先進的な取り組みを感じました。バストイレは究極の設備だと思えます。注文としては、お湯の設定温度をもう少し高くすること、部屋のカーテンのない窓があること、ハンガーと吊り具の設置、インターネット環境が悪い事があります。以上の不具合を改善すると完璧なものとなるのではないのでしょうか。以上ですが、最後に移住を考えるシニア層の中には、ただ老後の安心だけではなく、地域との文化的なふれあいとスポーツ参加(ジムとプールを設置し老若参加し健康推進を図る)を望む者もいるという点を理解していただき改善することを提案します。このような機会を与えていただき、都留市の試みにとても感謝します。

※給湯温度・インターネット環境・カーテン・ハンガー改善いたしました。



東京にも都留市の移住促進ブースがあります！ 各種イベントを開催中です！

移住促進センターは、生涯活躍のまち推進協議会が運営しており、誰もが自分らしく、最期まで安心して暮らせる、多世代共生の地域づくりに取り組んでいる先進的自治体を紹介しています。

首都圏以外での暮らしを考えている方、共に地域づくりを担いたいと考えている方たちなどの相談に乗り、生活設計(一人ひとりが望む暮らし方、資金計画、地域の情報提供)などを通して、各自治体への橋渡しし、さらには必要な手続きなど、「二地域居住」「お試し居住」も含め、きめ細かくサポートしていきます。

これから新しい土地で人生を送ろうとしている方、そして、そうした方たちを新しい住民として受け入れる自治体(本市ほか7自治体)がそれぞれブースを設置し、一人ひとりのライフスタイルに応じたご相談とご提案をしています。

センターがお互いの幸せな出会いの場になり、ここで始まる小さな試みが、日本を持続可能な社会へと導く原動力になることを願って開設されました。

なお、2月7日(日)には、東京駅近くの「移住・交流情報ガーデン(JOIN)」において、東京圏にお住まいの方々を対象とした「合同移住相談会」を、市職員や地域おこし協力隊により、センターと市で合同開催します。詳しい内容については、市ホームページをご覧ください。



都留市移住・定住相談センターから皆さまへ

●本計画推進のため、有効活用可能な空き家・本市の魅力を体験できるプログラム(ものづくり・趣味)などを、ご提供いただける方、また、お手伝いいただける方は、下記までご連絡をお願いします。

都留市移住・定住相談センター(エコハウス内)
☎(56)7511 担当：都留市地域おこし協力隊 斉藤



■東京駅八重洲口にある「移住促進センター」と連携を取り移住の相談を受け付けています。



■本市のブースの様子